

ボランティア・インターン募集



エコビレッジでの自給的な暮らしと労働をベースに、プログラムの準備やビジターのお世話などをお手伝いしていただきます。多様な人との出会い、異分野の学びが得られる貴重な機会です。

- ・4月中旬～11月中旬の間（継続で来られる方）
- ・交通費は自己負担
- ・作業服・長靴は各自で用意
- ・活動保険は当方で負担します

*広報や企画を担当する中長期インターンスタッフも募集しています。詳しくはお問合せください。2か月以上の住み込みは滞在費無料です。

アンバサダー募集

アンバサダーのみなさまには SNS でエコビレッジの PR をしていただき、不定期にギフトをお届けします。「ふるさとからの贈り物が楽しみ！」と好評です。

○ブロンズ会員：年会費3万円

- ・A えこびれセット（ジュース、スイーツ等年3回）
- ・B ワインセット（えこびれと地域のワイン年1回）
- ・C リンゴセット（生リンゴ5種&お菓子等年3回）

○シルバー会員：年会費5万円

年2回の登ワインセット

- ・エコビレ赤、モンガク谷ワイナリー白、登醸造ロゼ
- ・福原伸幸商店のニシンおつまみセット（5月予定）
- ・ブドウ収穫&仕込み体験招待

○ゴールド会員：年会費10万円

年6回の余市グルメシリーズ

- ・えこびれワイン or ジュース、百姓園サクランボ、ピンクオーチャードのブルーベリー、ヨイッチーニの手作りソーセージなど。

3万円のイベント&宿泊券付。



商品や作り手の詳細はこちらでご確認ください。
URL：https://note.com/yoich_ecovillage/



寄付・入金のご案内

ご寄付は、以下の口座にお振込みいただき、お手数ですが、ご氏名、ご希望のギフト、送り先ご住所、電話番号をメールでお知らせください。

連絡先：y.ecocollege@gmail.com

- ・ゆうちょ銀行から
【記号】 19070 【番号】 38886511
【口座名義】 トクビ ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト
- ・ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと手数料がお安くなります。
【口座番号】 02700-9-85080
【口座名義】 北海道エコビレッジプロジェクト
- ・北洋銀行から
【口座番号】 宮の森支店 普通 4031861
【口座名義】 トクビ ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト
- ・クレジットカードでの送金の場合
該当するギフトを下記 URL からお選びください。

寄先 URL
<https://yeco.base.shop>

（右のQRコードからもアクセスできます）



入会・寄付のお問合せは下記まで

【余市エコビレッジ】

余市郡余市町登町 1863
*JR 余市駅からバスで10分
(赤井川線でモンガク下車)、
徒歩3分

【Tel/Fax】
0135-22-6666

【Eメールアドレス】
y.ecocollege@gmail.com

【Web ホームページ】
<http://ecovillage.greenwebs.net/>



えこびれ
note

VOL.49 Apr.



作成・発行
NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト
■エコカレッジ:余市町登町 1863
■office:札幌市中央区宮ヶ丘 2 丁目 1-1-303
Hokkaido Eco-village Promotion Project

オンライン・エコカレッジ2022

豪華講師陣によるオンライン講座。

サスティナビリティに関心はあるけれど、何をしたらいいの？というあなた、知識を得たり、同じ価値観の仲間とつながることでぜひ実践のきっかけにしてください。参加者同士の交流も魅力です。

○開催日程 毎月第3水曜日 19:00~21:00

○定員 30人

○参加費 無料（感動に応じて投げ銭方式）

○内容

ゲストスピーカーの講義（45分）+坂本との対談（25分）+交流（20分） 第4回「環境共生型汚水浄化システム」の様子



番外編 4月27日（水） 講師：坂本純科 ゲスト：小西史明（登醸造）
「持続可能な暮らしとコミュニティ〜ワインで乾杯」

エコビレッジの目指している暮らしのコミュニティについて、ボランティアの受け入れについて、新年度のイベント企画について、そして今、余市で一番ホットなトピックス「ワイン」についてお話しします。

後半は、ブドウ栽培と醸造でリードしてもらっているパートナー農家にも登場してもらい、新しいワインリリースを祝って乾杯しましょう。

第10回 5月18日（水） 講師：久田 徳二（北海道たねの会）
「種を取り巻く問題とその行方」

2017年4月、国会で十分な審議が行われないまま主要農作物種子法廃止が可決され、2018年4月に廃止されました。2018年6月に、北海道の有志によって「北海道たねの会」が発足。北海道での新しい種子条例の制定を目指して活動している久田さんに登場していただきます。

なぜ種子を守る必要があるのか、世界と日本で起きている、遺伝子操作やタネの独占、多様性の喪失についてお話を伺います。

第11回 6月15日（水） 講師：山田 貴宏（ビオフォルム環境デザイン室）
「パーマカルチャーと建築」

私たちの未来は豊かで健康的な自然資本があって初めて成立します。そのためには、ヒト、モノ、自然の間の関係性をどう豊かにデザインしてくか、が問われています。地域の自然や風土、それを礎にしたなりわいや文化の中で建築づくりも構想していきたい。健やかで安心感のある暮らし、環境、地域、社会に開いた建築を実現するための工夫や想い、これからの環境建築のイメージについて山田さんに語っていただきます。

第12回 7月20日（水） 講師：吉武 大輔（コミュニティコンサルティング・ジャパン）
「コミュニティのつくり方」

山口県長門市、温泉として栄えたこの土地を「俵山ビレッジ」と称し、人・社会・自然が調和した循環型ライフスタイルの雛形をつくるため、活動している吉武さんに登場していただきます。

「健康をテーマにした新しい湯治場」として健康に関する施設や事業者を誘致し、老若男女が自身の健康について考え直すことのできる新しい湯治場「健康のディズニールランド」、さらに最終的に目指すのは、「子育てを中心としたコミュニティ」と言う、吉武さんに、新しいスタイルのコミュニティをつくる意義や価値、課題を伺います。



new!

春のワークキャンプ

畑起こしやイモ植え、薪割り、山菜収穫、共同調理など春のエコビレッジライフを体験します。

夜は環境テーマの映画鑑賞やエコビレッジ概論などの座学。みんなで温泉に行ったり、農家と交流したり、お楽しみも！

◆開催日程：

5月2日（月）15:00 オリエンテーション

5月6日（木）10:00 解散

◆参加費：通し参加 15,000円（学生7,000円）
単発参加 ¥3,000円/日（学生 1,500円）

◆定員：6人

◆持ち物：

汚れてもいい服と靴

雨具、防寒具、

洗面用具、保険証



HEPP クラブ活動

＜ピンヤードクラブメンバー募集＞

自分で育てたブドウでワインを作りたい方、ぜひご参加ください。将来は醸造も自分たちで、オリジナル自然派ワインづくりを夢んでいます。

定例作業は月2回程度。農家の指導のもとに、それぞれのペースで行います。

その他、野草クラブ、鶏クラブ、畑クラブなど、エコビレッジの自然や仲間、各分野の専門家ネットワークを活かした会員の主体的な活動です。活動日やルールなどはそれぞれのメンバーが話し合って決めます。

※ NPO法人の年会費+クラブ活動費(施設利用料・農具等) 1万円

※ お試し参加 OK です。お問い合わせください。

